

商品開発シラバス

| 科目名 | 単位数 | 学年 | 学期 | 必修・選択 | 対象学科 |
|------|-----|----|----|-------|------|
| 商品開発 | 3 | 2 | 全 | 選択 | 商業科 |

1 概要及び目標

- (1) 商品開発に関する知識と技術を身につける
- (2) 顧客満足を目指した商品づくり
- (3) 企画開発し流通活動を行う能力と態度を育てる

(4) 具体的な目標

- ① 「商品開発」の授業を通して、ドキスポで取り扱う商品を生徒が主体的に創り出すこと
- ② グループ学習、ペア学習、プレゼン、シェアリング、フィールドワークなどのアクティブラーニング形式の授業を通して、自主的・主体的に学ぶ、または学び合える学習姿勢を身につけさせるとともに、面前で論理的かつユーモアを交えた魅力あるプレゼンができる能力と態度を育てる(混沌とした現代社会を生き抜く術を教え込む)。

2 使用教科書・教材

教科書: 商品開発 315(実教出版)
副教材: 商品開発問題集 315(実教出版)

3 授業の展開と形態

「商品開発」と「広告と販売促進」の選択

4 学習方法

- (1) 教科書を適時使用しながら、自主的・主体的な生徒中心の学習スタイルとする。
- (2) 生徒に興味・関心を持たせ、テレビやラジオを視聴させたり、新聞・雑誌・広告などを見せ、できるだけ具体的に指導する。
- (3) 新聞の記事を取り上げ、社会的・経済的・法律的な問題等についても話し合わせる。
- (4) 商品開発で学習した知識・技術を通して、新商品の開発をグループで考案する。考案した内容をプレゼンし評価しあう。

5 成績評価

1学期は、中間テストは実施せずに、商品企画書のグループ作成を点数化する。期末テストは、商品開発甲子園のプレゼンテーションを体育館等で実施し、プレゼンテーションを点数化することで評価を決定する。

2学期は、ドキスポの準備のため中間テストは実施しない。期末テストは、デザインの基礎(教科書94～115)をテスト範囲にして座学で評価をする。

3学期は、商品アイデアコンテストを開催(期末テストの最終日最終時間)し、個人のプレゼンテーションを点数化することで評価する。

6 その他(履修上の注意)

提出物や日々のプレゼンを点数化することで、最終の評価を決定していく。

7 観点別評価の趣旨

| | 評価の観点・内容 | 評価の方法 |
|----------|---|------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | ・商品開発に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して取り組んでいるか。 ・商品開発に関する情報を適切に収集、処理して活用する実践的な態度を身につけているか。 | ・学習への意欲や態度 ・課題等の提出状況、取り組み |
| 思考・判断・表現 | ・これからのビジネス社会におけるマーケティング活動の諸問題の解決を目指して自ら思考を深めているか。 ・基礎・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫をする能力を身につけているか。 | ・定期考査 ・小テスト等 |
| 技能 | ・ビジネスマンとしての基礎的・基本的な技術・表現力を身につけているか。 ・ビジネスの諸活動における商品企画に関する情報を適切に収集、処理するとともに、その成果を適切に表現できているか。 | ・定期考査 ・小テスト等 ・提出物 |
| 知識・理解 | ・商品開発の基礎的・基本的な知識を身につけているか。 ・ビジネスの諸活動におけるマーケティングに関する情報の意義や役割を理解しているか。 | ・定期考査 ・小テスト等 |

商品開発 学習計画

| 月 | 学習内容 | 教科書 教材 | 時間 | 学習のおもな目標 |
|-----|---|--|-----|---|
| 4月 | ①ガイダンス(1クラス単位、PC教室) ②科目「商品開発」ガイダンス (商品開発室、選択者20名) ②自主的主体的な学習姿勢を育てるグループ分け ウォーミングアップ 私の好きな商品 第1章 商品と商品開発 第2節 商品開発の意義と手順 第2章 商品の企画 第1節 環境分析 第2節 意志決定と開発テーマの決定 第3節 市場調査 アンケートの集計・分析 | 教P22～31 教P34～ 問P17～21 教P44～50 問P23～25 教P49～ | 6 | 本授業の目標を確認 教科書 「学習はじめに」 科目「商品開発室」の意義と手順(教科書) 教室の使い方、評価方法、1年間の流れ グループ分けは、生徒の自主性を尊重(ストップウォッチ使用、 リーダーの見極めと人間関係の把握が目的、座席5名×4グループ) 発表会1(私の好きな商品) 商品開発に関する基礎・基本を確認する。 学校近隣のコンビニ商品調査 グループごとにコンビニ調査を実施(実態調査:観察法) 発表会2(市場調査結果について) 定量調査(アンケート)を作成する。 アンケート項目をまとめたら、パソコン入力&用紙の印刷 |
| 5月 | 第4節 ④集計結果をもとに、商品アイデアをまとめる とりのこ用紙に手書きでまとめさせ、発表させる。 | 教p 51～58 | | プレゼンテーションとKJ法によってアイデアを出し合う。商品 コンセプトを決定後に、商品イメージ等を作成(教57) 実現可能性、新規性、採算性、商品価格、製造価格(ネット や実店舗調査)、取引業者、ロット数、パッケージなどを考え させる 発表会3(新商品の提案) |
| 6月 | レシピの作成と商品の試作 ①レシピの作成 ②試作品の評価 商品開発実習 ローソン沖縄との商品開発企画に向けた学習 ①商品企画の立案 ②商品提案シートの作成 ③試作品の評価 | 教P68～89 教P182～195 | 21 | |
| 7月 | プレゼンスライドの作成 ③パワーポイントの作成 ④発表会 | | 9 | 発表会4(ローソン沖縄コラボ企画) |
| 9月 | 第3章 商品の開発 第1節 商品仕様と詳細設計 第2節 試作品の作成と評価 第3節 商品開発テスト 第4節 事業計画の立案 期末テスト | | 24 | ローソン沖縄商品開発企画を振りかえり、商品開発の流れを 学習する テスト範囲:第3章 |
| 11月 | 第5章 商品開発と知的財産権 第1節 知的財産権の内容 第2節 知的財産権の取得 第3節 知的財産権の活用 | | 33 | |
| 2月 | 学年末テスト 第4章 デザインの基礎 ①パッケージデザインの制作 パッケージデザインコンテストの開催 「特保の那覇商業牛乳パックをつくろう！」 | 教P94～111 教P112～115 | 12 | テスト範囲:第5章 牛乳パックのデザインを各自で、発想→ラフスケッチ→立体サン プルの制作→印刷→立体物の完成 まで。完成した立体物は、 2階商業科の廊下に掲示して、コンテスト形式で生徒票させる (1～3位までを表彰) 注意点:キャラクター使用は、著作権の パッケージコンテスト |
| | | | 105 | |